

# 九十九王子と熊野古道



熊野九十九王子は、京都から熊野三山に至るまでの途次、難行苦行の信仰の道をつなぐために設けられた神社です。熊野権現の御子神を祀る分社であり、水垢離、潮垢離等の禊ぎにより身を清め、心新たに熊野の地を遥拝し、また和歌会や里神楽等の法楽を行い旅の安全を祈願する場でした。

九十九王子は実数でなく数の多いこと、百は熊野三山を指すとも考えられます。王子社の中でも海南市の藤代王子社、印南町の切部（切目）王子社、上富田町の稲葉根王子社、田辺市中辺路町の滝尻王子社、田辺市本宮町の発心門王子社は、五躰王子社として特に格式が高いといわれています。

上皇・法皇の御幸とともに栄え、衰退していきましたが、足利将軍家、紀州徳川家により復元や遺跡保存が行われました。

## 旅のお問い合わせは

- 和歌山市観光課 TEL.073-435-1234
- (一社)和歌山市観光協会 TEL.073-433-8118
- 海南市産業振興課 TEL.073-483-8461
- (一社)海南市観光協会 TEL.073-484-3233
- 有田市産業振興課・観光協会 TEL.0737-22-3624
- 湯浅町ふるさと振興課 TEL.0737-64-1112
- (一社)湯浅町観光協会 TEL.0737-22-3133
- (公社)和歌山県観光連盟 TEL.073-422-4631
- 和歌山県観光振興課 TEL.073-441-2424

R6年7月改訂

地球環境保護のために、植物油インクを使用しています。

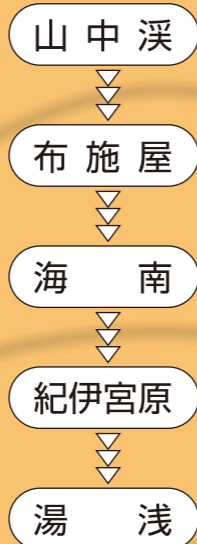


紀州路を歩く・紀州路を楽しむ

## 和歌山県街道マップ

# 熊野古道

## 紀伊路 山中溪～湯浅



大阪の天王寺を起点とするJR阪和線は、さしずめ現代の熊野みちといえます。同線の山中溪駅付近は宿場であった古い家並みが今に古道のおもかげを残しています。和泉の国と紀伊の国の国境である境橋を渡り、紀伊の国最初の難所「雄の山峠」にかかる所に、和歌山県に入って最初の中山王子があります。峠を越すと紀ノ川平野の大展望がひらけ、南国紀州に入ったことを実感します。紀ノ川を渡り、矢田峠、汐見峠を越えると、祓戸王子から藤代五躰王子（現在の藤白神社）に至ります。ここは熊野一の鳥居、熊野の入り口です。藤原定家が建仁元年（1201）に後鳥羽上皇のお供をした時の『熊野御幸記』に「攀じ登る」と書いた藤白峠、拜ノ峠、糸我峠の厳しい峠を越えて湯浅へと向かいます。けわしい山坂の連続を乗り越えて無事に熊野三山への参詣を果たすよう、上皇・法皇が延べ100回にわたる熊野御幸の際には必ず藤代王子に宿泊をして道中の安全を祈願し、さまざまな法楽を催していました。当時、祓戸王子のある信達の宿を出発し、藤代まで1日、藤代から湯浅まで1日の行程でした。



### ルートその1【P4へ】 山中溪駅～布施屋駅

京の都から熊野三山への参詣道「熊野古道」は、「雄の山峠」を越えいよいよ紀伊の国へと入ります。

県道と並行する古道を南下し、和歌山県側に峠を越えると、紀ノ川平野・長峰の連山が広がります。紀ノ川北岸の各王子社をめぐり、紀ノ川を越えると、そこは和歌山市布施屋の町。布施屋（ほしや）の地名はかつてこのあたりの人々が熊野詣での旅人を接待したこと由来する街道上の要所です。

このコースは県道をはじめとした車道を進む区間が多いので、車には充分注意して歩いてください。



山中宿があった山中溪の街並



紀伊国の関所があったといわれる山口王子跡

### ルートその2【P6へ】 布施屋駅～海南駅

紀ノ川の横断を終えた古道は、和歌山市東部の農村地帯を南へと向かいます。江戸時代の大庄屋の遺構を残す「旧中筋家住宅」や弓の名人「和佐大八郎」の墓、点在する王子社等をめぐり、矢田峠を越えると、木の神を祀る「伊太祁曾神社」に至ります。

伊太祁曾神社からは、県道に沿って南下し海南市へ。海南市に入ると、長峰の山々が迫り、これから山を越えるという緊張感が沸き立ってきます。このコースも県道をはじめとした車道を歩く区間が多いので、車には充分ご注意ください。



伊太祁曾神社



汐見峠・呼び上げ地藏

## 和歌山県街道マップのご利用にあたって

- この街道マップは、「高野参詣道」「熊野古道」に代表される和歌山県の街道を多くの方に歩いて触れていただくことを目的に制作したものであり、学術的な調査や研究に基づいて、古道ルートを規定・限定する意味で作られたものではありません。予めご承知のうえご活用ください。
- 「高野参詣道」「熊野古道」等の和歌山県の街道に関する情報・解説などは、和歌山県観光ホームページ(https://www.wakayama-kanko.or.jp/)の「世界遺産 高野山」、「世界遺産 熊野・熊野古道」でご覧いただけます。

## 登山届について

- 万が一に備え、必要に応じて登山届を提出しましょう。詳細は和歌山県警察 HP をご確認ください。
- 問い合わせ先：和歌山県警察本部地域指導課【TEL】073-423-0110



### ルートその3【P8へ】 海南駅～紀伊宮原駅

海南駅から古道に合流するとそこは熊野一の鳥居跡。その昔熊野の入口という意味の鳥居があったところです。熊野九十九王子の中でも特に格式が高く別格とされた「藤代王子」（現藤白神社）を過ぎるといよいよ熊野古道の風情を色濃く残す「藤白坂」へとさしかかります。「熊野路第一の美景なり」と「紀伊国名所図会」にも記された御所の芝から、和歌の浦、淡路島、四国等の鳥影を見渡した後は、海南市下津町から有田市にかけての有田みかんの本場へとさしかかり、みかん山のきびしい登り降りが…。

厳しい中にも見事な風景や万葉ロマンが点在するこの区間。間違いなく熊野古道中の名コースのひとつに数えられます。



五躰王子社のひとつ藤代王子（藤白神社）



士俵がある一壺王子（山路王子神社）

### ルートその4【P10へ】 紀伊宮原駅～湯浅駅

有吉佐和子の小説「有田川」の舞台となり、万葉集にも詠まれた「糸我の里」からこのコースははじまります。中將姫ゆかりの「得生寺」や日本第一稻荷として知られる「糸我稻荷神社」をはじめ「熊野古道資料館」等様々な見所が点在しています。

糸我峠・方津戸峠と峠を越えると、熊野古道の宿場として、また醤油醸造の発祥の地として栄え今も伝統を受け継ぐ湯浅の町。町並の風情が往時の賑わいを偲ばせてくれます。



糸我峠



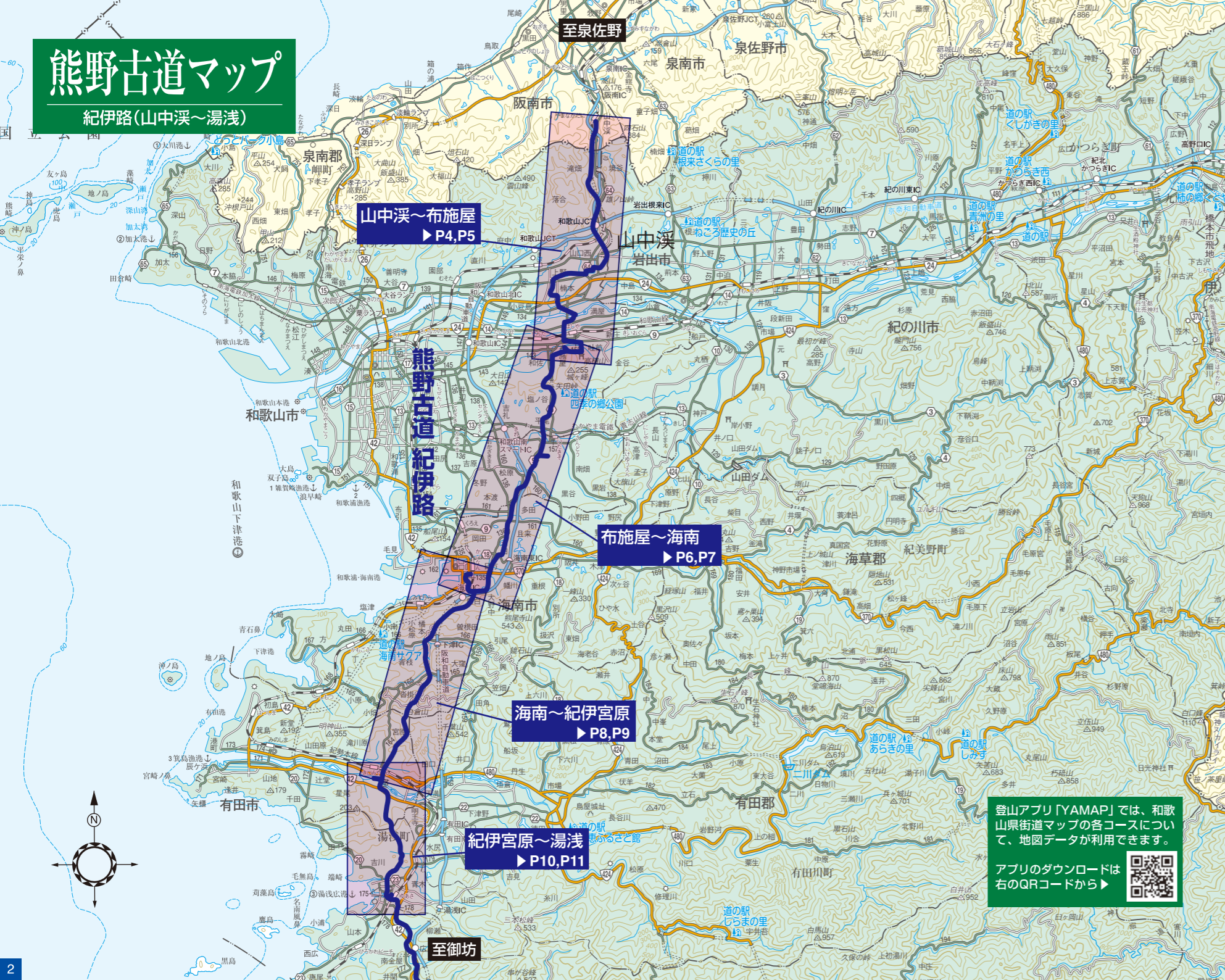
道町の立石道標

## 古道散策の際には、以下のルール・マナーを守って歩きましょう。

- ゴミ(弁当からや空き缶・ペットボトル等)は、必ず持ち帰りましょう。
- 古道沿いの植物を傷つけたり、自然の草花を持ち帰ったりすることはやめましょう。
- 歩行が原則です。やむをえないとき以外は走らないようにしましょう。
- 歩きタバコやポイ捨ては絶対にやめ、喫煙マナーを守りましょう。
- お互いに気持ちよく挨拶を交わしましょう。
- トレッキングポールを使用する場合は先端の石突きにゴムキャップを使用するなど、道を傷つけないようにしましょう。
- 山中人気のない所や、携帯電話の通じないエリアもありますので、事前に計画をたて、無理のない行程で歩きましょう。また、山中は日の入り時間よりも1時間以上早く暗くなるエリアがありますので、十分ご注意ください。

# 熊野古道マップ

紀伊路(山中溪～湯浅)



山中溪～布施屋  
▶ P4, P5

山中溪  
岩出市

布施屋～海南  
▶ P6, P7

海南～紀伊宮原  
▶ P8, P9

紀伊宮原～湯浅  
▶ P10, P11

登山アプリ「YAMAP」では、和歌山県街道マップの各コースについて、地図データが利用できます。

アプリのダウンロードは右のQRコードから▶

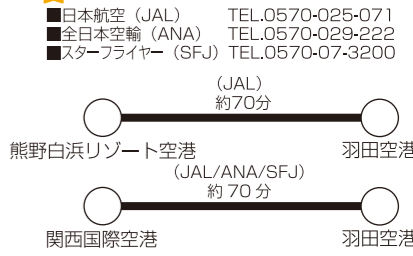
# 熊野古道 [紀伊路] アクセスガイド



## 電車



## 空路



# 山中溪駅(大阪府阪南市)～布施屋駅(和歌山市)

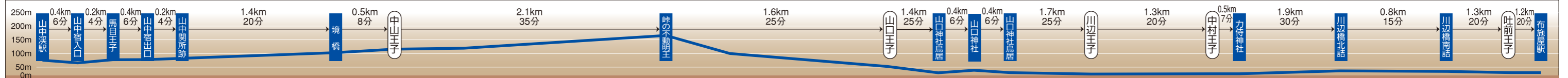
歩行距離 17.5km  
標準歩行時間 4時間45分  
標準所要時間 6時間10分

大阪府の最南端阪南  
雄ノ山峠、紀ノ川を越

市山中溪を出発し、熊野古道はいよいよ「泉州」から「紀州」に入ります。  
え、和歌山市布施屋まで歩く和歌山県の入口にあたるルートです。

昔の面影を残す山中宿からのスタートです。日本最後の仇討ち場跡が残る境橋を過ぎると和歌山県に入り、山中王子跡(現在は山中王子跡)が和歌山県内最初の王子跡になります。比較的近いならぬルートですが、県道等の舗装道を歩く部分が多く、交通量の多いコースとなりますので車には充分注意して歩いてください。和歌山市内は、道標や導き石などがあり、分かりやすく整備されています。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



### 凡例

- 王子
- トイレ
- 公衆電話
- 自販機
- 休憩所
- コンビニ
- バス停
- スタンプ
- 道標
- 導き石

和歌山市に入ると、町なかの交差点に導き石が埋め込まれています。道の分かりにくいところは、この石を目印に進みます。

### スタート地点までのアクセス

「山中溪駅」からスタート。  
「天王寺駅」からは、JR阪和線・快速を利用。  
「和歌山駅」からは、快速列車で。詳しくは、JRおでかけネットをご覧ください。

■大阪方面から

天王寺駅 → JR阪和線・快速 → 山中溪駅  
約55分

■和歌山方面から

和歌山駅 → JR阪和線・快速 → 山中溪駅  
約17分

### お帰りは

「布施屋駅」でゴールし、JR和歌山線で「和歌山駅」に戻るのが基本です。また、約2時間先に進んで、「伊太祁曽駅」まで歩き、和歌山電鐵貴志川線で「和歌山駅」まで戻る方法もあります。

■JR布施屋駅から

布施屋駅 → JR和歌山線 → 和歌山駅 → JR阪和線・快速 → 天王寺駅  
約11分 / 約63分

■伊太祁曽駅から

伊太祁曽駅 → 貴志川線 → 和歌山駅 → JR阪和線・快速 → 天王寺駅  
約15分 / 約63分

### 標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む)

山中溪駅	9:05	山中宿入口	9:30	山中宿出口	9:35	山中関所跡	9:55	境橋	10:00
...		山中王子	10:08	10:15	峠の不動明王	10:50	山口王子	11:15	11:20
...		山口神社	11:45	12:30	川辺王子	13:00	13:05		
...		中村王子	13:25	13:30	力待神社	13:37	13:50	川辺橋	14:20
...		吐前王子	14:55	15:00	布施屋駅	15:20			

(ここで昼食休憩:お弁当)  
(少し長めの休憩)

### 沿道の花ごよみ

山中溪駅周辺  
サクラ...見頃 3月下旬~4月中旬  
力待神社  
サクラ...見頃 3月下旬~4月上旬  
花の見頃は年により異なる場合があります。

街道マップ「紀伊路 山中溪駅～布施屋駅」

布施屋駅～海南駅(P6)





# 紀伊宮原駅(有田市)～湯浅駅(湯浅町)

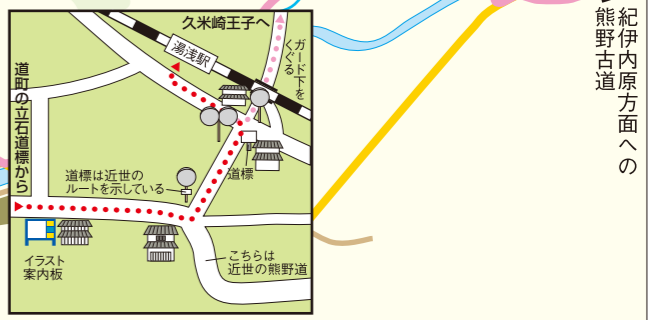
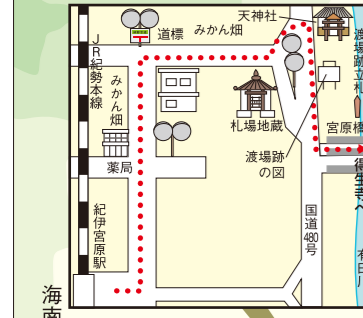
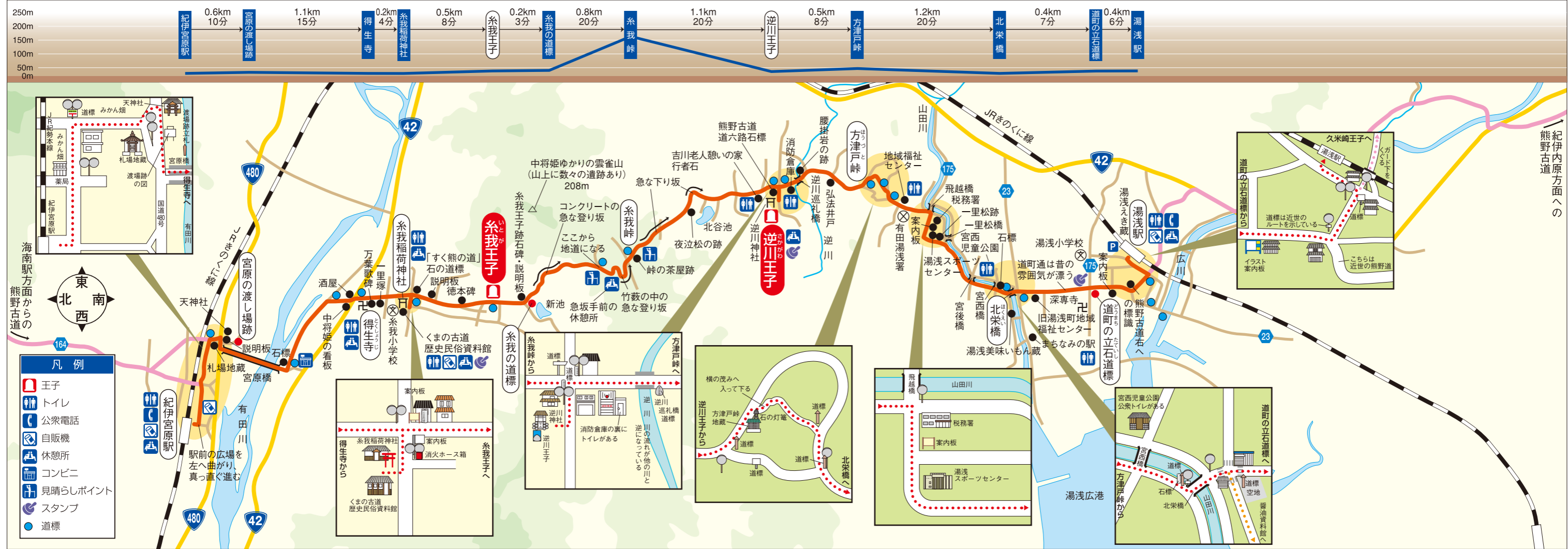
歩行距離 7.0km  
標準歩行時間 2時間00分  
標準所要時間 3時間50分

有田川北岸の宮原から、有田川を渡るルートです。醤油醸造発祥の

渡り、糸我峠を越え、熊野古道の宿場として賑わった湯浅へ抜け地湯浅はゆっくり歩いていただくにふさわしい町並が残っています。

このコースは有田川を渡り、万葉の里糸我から、醤油醸造発祥の地湯浅へ峠を越えるルートで、中将姫伝説ゆかりの得生寺や、日本最古のお稲荷さんといわれている糸我稲荷神社、湯浅の重伝建地区の歴史ある町並みなど、短い距離のなかに多くの見所が点在しています。湯浅は醤油醸造発祥の地として知られ、今もなお伝統的な手作りの製法を頑固に守っている店もあります。古道を歩く際のおみやげに是非伝統的湯浅醤油をお試しください。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



- 凡例**
- 王子
  - トイレ
  - 公衆電話
  - 自販機
  - 休憩所
  - コンビニ
  - 見晴らしポイント
  - スタンプ
  - 道標

## スタート地点までのアクセス

「和歌山駅」からJRきのくに線を利用して、「紀伊宮原駅」へ。



## お帰りは

「湯浅駅」でゴールし、JRきのくに線で「和歌山駅」まで戻ります。また、「湯浅駅」から天王寺・新大阪方面に直通の特急列車も運転しています。



## ひとくちメモ

湯浅駅及び町内観光施設で湯浅町マップをお配りしています。便利なマップを用いて、町並みめぐりや、お買い物を是非お楽しみ下さい。

お問い合わせ：(一社)湯浅町観光協会  
TEL.0737-22-3133

## 標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む)

紀伊宮原駅	10:00	宮原の渡し場跡	10:10	得生寺	10:15	糸我稲荷神社(くまの古道歴史民俗資料館)	10:30	糸我王子	10:40	糸我峠	10:50	逆川王子	11:00	方津戸峠	11:15	北栄橋	11:25	道町の立石道標	11:30	湯浅駅	11:45
										12:00 (峠で小休止)		12:20 (少し遅い昼食休憩:お弁当)									
										湯浅駅から町内マップを片手に「重要伝統的建造物群保存地区」を散策		湯浅駅から町内マップを片手に「重要伝統的建造物群保存地区」を散策(所要時間1時間30分程度 再度湯浅駅に15時20分に到着)									

## 沿道の花ごよみ

沿道各所  
みかんの花...見頃 5月上旬  
花の見頃は年により異なる場合があります。

街道マップ「紀伊路 紀伊宮原駅～湯浅駅」